

天体観測ドーム 今月のOPEN

日没から午後9時30分まで（晴天時のみ）

1日(日)・7日(土)・8日(日)・14日(土)

15日(日)・21日(土)・22日(日)

12/

星空通信



2024年12月号

- | | |
|----------|--------------------|
| 1日 新月 | 14日 ふたご座流星群が極大 |
| 6日 水星が内合 | 15日 満月 |
| 8日 土星食 | 16日 水星が留 |
| 9日 上弦 | 23日 下弦 |
| | 25日 スピカ食/水星が西方最大離角 |
| | 31日 新月 |

用語解説

内合…地球-内惑星-太陽と並んだ時

西方最大離角…地球から見た天球上で、太陽の西側に

もっとも離れる瞬間。

留…惑星が順行⇔逆行へ変わる時、地球から見た天体

上で、太陽からもっとも離れる瞬間。



ふたご座流星群

2024年度のふたご座流星群の活動は12/14の10時頃に極大を迎えると予想されています。明るい流星も多く流れるふたご座流星群は、12/12夜～12/15明け方までの3夜は、普段よりも多くの流星が流れることが期待されています。最も多く流れ星が見られる極大夜は、12/13夜～12/14明け方にかけてでしょう。13日の夜は、21時頃から流星の数が増えていき、14日0時頃に空の暗い場所で観察した場合、1時間あたり30個程度の流星が見られそうです。

観察する時は体を暖かくして星を眺めてくださいね♪



★今月の惑星情報★

水星

月初は日の入り後の南東の低空に位置。6日に内合となり、以後は日の出前の南東の低空に位置。中旬以降は高度があがり、25日には西方最大離角になる。12/16～1/2までの明るさは0.3～-0.4等。

金星

日の入り後の南西の空に見える。月末に向かってだんだんと高度が上がリ、明るさも増していく。明るさは-4.2～-4.4等。

火星

月初はかに座を東に移動。8日には留となり、以降は西向きの動きに転じる。留の頃には星座の中での火星の動きが止まったように見える。真夜中の頃、東から南東の高い空に見え、明るさは-0.5～-1.2等と明るくなる。

木星

おうし座を西に移動。8日に衝となり見頃となる。真夜中に南から西の空高く見える。明るさは-2.8から-2.7等。

土星

みずがめ座を東に移動。宵の南西から西の空に見え、明るさは0.9～1.1等